

ふつさ市議会だより

No.240

令和7年1月25日
発行 / 福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X(旧Twitter)



Facebook

令和7年 福生市成人式



▲令和7年1月13日に開催された福生市成人式(実行委員会のみなさん)

令和6年
第4回
定例会

12月3日～12月20日

障害者サービス・保育事業等に係る 補正予算等を可決

令和6年度一般会計補正予算の概要

各種事業等に係る補正予算について審議し、可決されました。

一般会計補正予算(第4号) 補正額 5億7,202万5千円

主な
事業

- 障害者サービス事業(介護・訓練等給付費ほか) 5,188万2千円
- 保育事業(保育所運営委託料、認定こども園施設型給付事業ほか) 1億8,622万4千円
- 子育て支援費(義務教育就学児等医療費助成事業) 2,047万4千円
- 生活保護事業(生活・住宅・医療扶助費ほか) 6,143万7千円
- 母子保健費(子育て世代包括支援事業ほか) 1,911万7千円

一般会計補正予算(第5号) 補正額 1億4,582万2千円

- 職員人件費及び会計年度任用職員手当等 1億3,109万5千円
- 予防接種健康被害救済事務(健康被害救済給付金) 1,472万7千円

令和6年第4回定例会は、12月3日から12月20日までの会期18日間で開催されました。条例の一部改正や補正予算など、市長提出議案11件、諮問1件、委員会提出議案1件の審議、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われました。また、16名の議員による一般質問が行われました。市民等から提出のあった陳情2件は不採択となりました。

14日	▼1月	20日	17日	13日	12日	11日	10日	6日	5日	4日	3日	▼12月	26日	▼11月
議会運営委員会	議会運営委員会	全員協議会	議会運営委員会	委員会	横田基地対策特別	総務文教委員会	市民厚生委員会	建設環境委員会	全員協議会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会	議会運営委員会

◆会議の
開催状況と
審議日程◆

◆ 主な内容 ◆

- ◆ 一般質問(要旨) …… 2～5面
- ◆ 行政視察報告 …… 5面
- ◆ 可決等された案件 …… 6面
- ◆ 議案の審議結果 …… 7面
- ◆ 委員会の審査 …… 7～8面
- ◆ 特別委員会活動 …… 8面

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。
要旨は1～2問とし掲載しました。
会議録は2月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。
また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。
なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。
※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



▲福生市議会HP
(通告一覧へ
リンクします)



▲議員BOOK
(各議員の過去
の一般質問や
会議録をご覧
いただけます)

福生駅西口地区市街地再開発事業の進捗について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 現在、準備組合が施行しているが、組合設立認可申請に向けた手続きの進捗はどうなっているか。また、総事業費や市負担額について伺う。

市長 組合設立認可申請に向けた手続きは、準備組合から市へ資金計画等を基にした事業計画書の提出が必要だが、現時点ではまだ提出されていない。総事業費は資材高騰等の

影響で350億円を超えると聞いており、市の負担額は現在協議中だが、現計画では事業費増に伴う負担やランニングコストが大きくなるため、未来に大きな財政負担を残さないようにする必要がある。公共公益施設は、当初予定していた機能の一部が国土交通省の補助金の対象外となったため、私自身も防衛省へ補助金獲得のため働きかけ、活用のめどがつ

いたことから、事務手続きに向け協議を進めている。活用には事業の一部を市の直轄へ変更する必要があるため、準備組合に対し承諾いただくよう協議しており、併せて負担軽減のため施設の機能や規模について今後改めて見直しを検討する。これらの再検討には2年程度要するなど様々な課題はあるが、これを乗り越えやり遂げたいと考えている。



健康づくりについて



正和会
小林 貢 議員



質問 市民の健康づくりについて、今後どのようにアプローチを行うのか伺う。

市長 生活習慣病予防では、健康相談や健康教室に一層注力する。特定健康診査と特定保健指導では、実施率・受診率の向上に努める。がんへの対応では、予防に向けての情報提供や検診の受診勧奨を行う。健康づくりでは、ふくふく福生体操や健

康ウォーキングなどの事業を推進する。引き続き市民のニーズを踏まえた取り組みで健康増進を図っていく。
不登校特例校分教室(福生第一中学校7組)について

質問 不登校特例校分教室のこれまでの取り組みの成果と課題、今後の展望を伺う。

教育長 令和2年4月の開設以来、生徒一人一人へきめ細かな指導、支

援を実施。特徴として音楽や技術・家庭科など実技教科を多く設定し、各教科を横断的に扱う福生版プロジェクト学習では、探求力や自己調整力を育成してきた。課題は、さくら会館内に所在することによる学習環境への影響、正規教員の増員、登校したくなる施設・設備の充実など。今後は、分校化を目指し福生第三小学校新校舎への移設を検討している。



▲健康相談の様子

福生市の指定管理者制度について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 本市では指定管理者制度の導入から20年弱が経過したが、その成果と課題について伺う。

市長 現在、19の施設で指定管理者制度による管理、運営を実施。人件費削減や職員の効率的配置が実現し、民間の専門的知識やスケールメリットを生かした運営により市民サービスの向上につながっている。一方で一部業態では自主事業に制約

があり、利用料収入を伸ばせない施設があるほか、期間満了に伴う新たな管理者の公募に1事業者のみ申請という事例もあり、解消に努めたい。
福生市立小・中学校におけるGIGAスクール構想について

質問 本市小・中学校におけるGIGAスクール構想の取り組み状況と今後の計画について伺う。

教育長 一人一台のiPadによ

り、児童・生徒がいつでも、どこでも学べる環境を整備。令和6年度の調査では、授業でのICT機器の使用頻度を「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合が国や都の平均を上回った一方で、家庭での使用方法や教員の指導力向上などの課題がある。今後、令和7年12月にiPadのリース期間が満了するため、円滑な更新を目指す。



災害対策について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 災害等、緊急時の飲料水の確保のため給水車が必要と考えるが、本市での対応を伺う。

市長 東京都水道局は30台の給水車を所有している。多摩地域は4台配備されており、災害時には多摩地域や区部を問わず出動する。また、市内2か所の災害時給水ステーションのほか、17か所の避難所に応急給水用資器材が配備されており、断水

時でも給水は可能と考える。
福生市立図書館基本計画について

質問 福生市立図書館基本計画の計画期間が令和5年度から1年間延伸された。次期計画の策定の進捗状況やその特徴について伺う。

教育長 福生市立図書館基本計画は、改定する上位計画との整合や、中央図書館のリニューアルに伴う新たなサービス等の位置づけを図るた

め、計画期間を1年延伸した。改定では、基本理念を継承し、誰もが使いやすい図書館サービスの推進を図り、また利用者調査等で把握したニーズを計画策定に生かし、市民に分かりやすい計画であることを基本として、4点の目標の下、13の基本的な方針、23の施策を設定した。名称を福生市図書館ビジョンに改め、令和7年3月の策定を予定している。



▲明神下公園内にある応急給水施設

公営住宅等について



公明党
原田 剛 議員



質問 本市は近隣よりも公営住宅の数が多く状況だが、市営住宅の管理戸数の見直しについて考えを伺う。

市長 本市の市営住宅の管理戸数は近隣市と比較して多く、充足していると考えことから、新たな整備は予定しておらず、既存の住宅の適正な維持管理を継続していく。今後、公営住宅等長寿命化計画に基づき修繕や改修は行うが、入居率や住宅困

窮者などの現状把握を行った上で戸数の見直しも必要になると考える。

セルフネグレクトについて

質問 自宅で暮らす高齢者などが食事や着替え、病気の治療などの生活行為をしない、あるいはできなくなる「セルフネグレクト」について、高齢者への対策を伺う。

市長 高齢者へのセルフネグレクトの予防には、地域包括支援センタ

ーを中心とした連携や見守り支援の強化が重要と考え、市では地域包括支援センター加美内に、高齢者見守りステーションを設置し高齢者世帯を訪問。支援が必要な高齢者を早期に発見し、支援につなげる取り組みを行っている。また、地域包括支援センターの運営体制を強化し、看護師や社会福祉士などの専門職が高齢者の実態把握や相談支援を行っている。

ごみ減量対策等の取組について



正和会
仲間 正司 議員



▲市ホームページに掲載している「ごみのゆくえ」

質問 ごみ減量対策は、地球環境を守り持続可能な社会を築くために非常に重要だが、市は今後ごみ減量対策をどのように進めていくのか。

市長 ごみの減量に向けた今後の取り組みとして、令和7年4月からは使用済みペットボトルを何度でもペットボトルに再生する水平リサイクルを実施する。また、子どもたちへの環境教育が重要であることか

ら、中間処理を行うリサイクルセンターの見学や市ホームページの「ごみのゆくえ」等の他にも様々な機会を活用した環境教育の場を提供していく。

空き家対策及び空き家住宅除却助成等について

質問 空き家問題は福生市でも問題視されているが、市の対策と空き家住宅除却助成事業についての考えを伺う。

市長 令和2年度に福生市空家等対策計画を策定し、良好な住環境の整備や定住化のための住宅用地の創出に取り組んでいる。特に管理状況に問題がある空き家については、職員による現況把握調査や所有者に対する適正管理の呼びかけを行い、老朽化した空き家に対しては、空き家住宅除却助成事業として除却に係る工事費用への助成を行っている。

喫煙所について



正和会
幡垣 正生 議員



▲福生駅西口喫煙所

質問 駅周辺喫煙所、特に福生駅西口喫煙所設置の経緯と受動喫煙等への今後の対策について所見を伺う。

市長 平成26年4月1日施行の福生市清潔で美しいまちづくり条例に基づき、市内の駅周辺を路上禁煙区域に指定したため、同条例において特別に喫煙できる場所として、福生駅西口喫煙所を含め7か所の駅前喫煙所を設置した。その後、平成30年

7月25日に健康増進法の一部を改正する法律が公布されたことを受け、示された受動喫煙防止対策の事例や専門的な見解等を基に、駅前喫煙所の見直しを行った。福生駅西口喫煙所は、スペースや通行の動線の確保等のためパーティション設置による受動喫煙防止対策が困難である一方で、喫煙所の利用があること等を踏まえ、路面上に喫煙所エリアを標示

し、広範囲での喫煙を防ぐ対策を講じてきた。今後の対策としては、福生市美しいまちづくりマナーアップ指導員による指導や、マナーアップキャンペーンの継続実施、市広報、ホームページ等により、喫煙マナー向上の周知徹底等に加えて、現在の通行者への影響等を鑑み、簡易的なパーティションの設置や移設、撤去等を含めて総合的に検証していく。

マイナ保険証への移行について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 マイナンバーカードに健康保険証の機能を持たせた、いわゆるマイナ保険証を使うメリットは。

市長 医療機関受診時に自身の服薬履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意することで、医師からより多くの情報に基づいた総合的な診断が受けられることや、重複投薬を回避するなど適切な医療を受けられること。また、高額な医療費が発生

する場合に限度額適用認定証を申請していなくても自己負担額を超える医療費を一時的に負担する必要がなくなることや、マイナポータルでの確定申告時に医療費控除が簡単にできるなど、手続きが便利になる。

質問 マイナ保険証の登録状況及び登録の支援については。

市長 福生市の最新のマイナンバーカード保有枚数率は71.9%、

国民健康保険の利用登録状況は53.9%、後期高齢者医療が59.5%といずれも都の平均値を上回っている。マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、医療機関に設置されているカードリーダーやマイナポータル等での登録が必要だが、自身での登録が難しい方に対しては、市の窓口で職員による登録サポートを行っている。

防災関連動画について



公明党
堀 雄一郎 議員



▲避難所用資器材取扱説明動画の再生リスト

質問 市が配信している防災備蓄資器材の取扱動画は、視覚的に分かりやすく優れたものと思う。動画作成までの経緯や周知等の所見を伺う。

市長 防災資器材の取扱動画については、より多くの市民、特に避難所の開設・運営に携わる自主防災組織の方に分かりやすく資器材の取り扱い方法をお伝えするために、令和5年度に職員が企画から撮影、編集

までを行い作成し、平時の防災対策をより強固なものとするため、防災啓発の一環として動画を公開している。今後も避難所運営連絡会等の場で動画の周知を図り、福生市総合防災訓練時における資器材取り扱い訓練の充実に取り組んでいく。

福生駅東口のバス乗り場に空港バス発着を誘致することについて

質問 誘致について市の所見は。

市長 市でも機会があるごとに事業者に働きかけを行っているが、既に福生駅西口からの空港バスを運行する他社との競合などから現時点では実現は難しく、まずは通常の路線バスのダイヤの維持を最優先事項として考えているとのことである。今後も市民の交通利便性の向上のため、要望を継続していきたいと考えている。

広域連携について



正和会
清水 義朋 議員



質問 立川市周辺9市による広域連携推進協議会について、協議会の様子や内容、成果について伺う。

市長 広域連携推進協議会は、立川市及び立川市周辺に位置する9市により構成されており、10月21日には昭島市で9市の市長が一堂に会して意見交換を行う「広域連携サミット2024」を開催。「人口構造の変化に対応する広域連携」をテーマに、今後各

市の人口が中長期的にマイナスに転じるという予測の下、諸課題に対して9市がどのように連携していくべきか議論を行った。本市からは、西多摩地域の医療現場における慢性的な医師不足などを課題として挙げ、各市の地域性等を踏まえた諸課題について議論した。どの課題も一つの自治体だけで対処するには限界があり、9市が連携・協力して進めてい

く必要性を各市長が共通認識した。最終的に、これまで培った連携を一層強化し、誰もが安心して市民生活を送ることができる持続可能な地域社会の実現に向け、スピード感を持って取り組んでいく趣旨の共同文書を取り交わした。人口減少問題に対して明確なビジョンに基づく取り組みを推進できる体制を築けたことは、大きな成果であったと考えている。



▲広域連携サミット2024の様子

子どものメンタルヘルスについて



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 子どもや若者にも心の不調や精神疾患についての知識(メンタルヘルスリテラシー)を得る機会が必要と考えるが、市の所見とそれに資する取り組みは。併せて教育委員会の所見と学校の取り組みも伺う。

市長 子どものメンタルヘルスについては、様々な社会的な背景と関連する重要な課題と考え、市の取り組みとして、市民や市職員へのゲー

トキーパー研修のほか、こども家庭センターや児童館等で、悩みや不安を抱える子ども・若者や家族に対する相談体制を整えるなど、支援につなげている。また、ストレスや気持ちの落ち込み度をチェックするシステム「こころの体温計」を市ホームページに掲載するなど、心の健康や病気、相談支援やサービスの情報について周知している。今後も支援体

制の強化に努める。

教育長 心身の健康教育の充実は、極めて重要と認識している。小学校では体育科、中学校では保健体育科の授業で心の発達等を指導しているほか、児童・生徒が不安や悩みを抱え込むことなく身近な信頼できる大人に相談することの大切さを、発達の段階に応じて、あらゆる機会を通じて丁寧に伝えている。



ペットボトルの水平リサイクルの取組について



公明党
川崎 善友 議員



質問 ペットボトルの水平リサイクルについて、令和5年第4回定例会でも質問したが、その後の状況について伺う。

市長 国や東京都も水平リサイクルを推進しており、都内26市のうち9市で実施。これまで市が収集したペットボトルは衣類や食品トレイ等にリサイクルされ、最終的には焼却処理されるなど、資源が循環してい

ない点に課題があった。市では、西多摩地域初の取り組みとして、令和7年4月からサントリーグループと事業協定し、水平リサイクルに転換することにより、持続可能な循環型社会及び脱炭素社会の実現に寄与するものと考えている。

高齢者の補聴器購入費用助成について

質問 高齢者の補聴器購入費用助

成について先行自治体を調査中とのことだが、その後の経過を伺う。

市長 令和7年度からの助成事業実施に向け調整中。対象者は65歳以上の加齢性難聴と認定された方で、財源は都の補助金を活用。チラシ等を作成し、事業の周知に加えて加齢性難聴や補聴器の啓発を行う。今後、補聴器相談医や補聴器専門店と協議を重ね、実施に向け準備を進める。



身寄りのない高齢者への支援について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 本市が行っている身寄りのない高齢者への支援について伺う。

市長 高齢者が孤立しないよう、令和4年度に地域包括支援センター加美内に高齢者見守りステーションを設置、65歳以上の独り暮らしの方や高齢者世帯を順次訪問するアウトリーチ型の見守り支援を行い、必要に応じて適切な支援が受けられるよう関係機関に引き継いでいる。また、

地域包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、専門職が将来に不安や生活上の課題を持つ高齢者に対し、相談支援を実施。地域においては、民生委員等による地域の方々や老人クラブ等の活動等を通じ、在宅生活の継続支援や高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいた

闇バイト防止への取組について

質問 本市での闇バイト問題への取り組みを伺う。

市長 市ホームページで東京都の特殊詐欺加害防止特設サイトを案内。同ページでは闇バイトの見分け方や相談先を紹介している。また、成人式で特殊詐欺加害防止リーフレットを配布、未成年向けにも注意喚起のチラシを作成し周知している。



多摩川^{いっすい}洪水時の田園地区における垂直避難について



日本共産党
伊藤 広美 議員



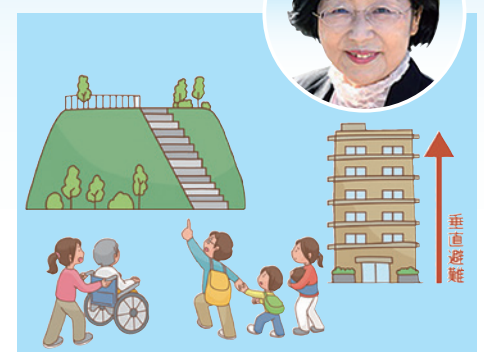
質問 田園地区では、風水害時に避難指示が出た場合、坂道も多く福生団地に住む高齢者には過酷な避難となることが想像されるため、垂直避難を認めてほしいという要望がある。葛飾区では、UR都市機構と「水害時における共用部分の一時的な使用に関する基本協定」を締結しているが、本市も同様の協定を結び、垂直避難の導入は可能か、所見を伺う。

市長 垂直避難後に洪水が発生した場合、電気、ガス、水道等のライフラインが使えずに水が引くまで孤立するおそれがある。福生市地域防災計画において、垂直避難は危険が切迫している際に発令する、緊急安全確保発令時のみとしている。風水害は地震などとは違い、気象警報や注意報が発表されてから現象の発生までに時間があり、余裕を持った避

難行動を取っていただきたいと考えていることから、UR都市機構との協定は現在考えていない。

質問 緊急安全確保発令時には、垂直避難も想定しているということか。

総務部長 緊急安全確保発令時は、大変危険が切迫しているので、命を守る行動として垂直避難も想定している。



米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 令和6年10月4日に米軍から、8月30日の豪雨により、横田飛行場の消火訓練エリアから泡消火薬剤の残留物を含む水が施設外に出た蓋然性が高いとの情報提供があったが、この件への本市の対応を伺う。

市長 情報提供を受け、詳細な情報の提供と国の責任において公共用水域や地下水への影響の調査・分析・評価を行うよう横田基地に関する東

京都と周辺市町連絡協議会から国へ要請した。その後、北関東防衛局から貯水池のPFOS等の濃度や流出ルート、通報までの経緯に関する説明があった。10月には東京都、11月には北関東防衛局が水質検査を実施。PFOS及びPFOAの合計値は、国の暫定指針値を下回った。11月19日には北関東防衛局より、在日米軍が本年5月末までに旧式の泡消

火薬剤を廃棄した旨と今後の取り組み等の情報提供があったが、基地内での漏出状況や流出ルート、貯水池の水の処分状況、包括的かつ長期的な対応策などが示されておらず、11月20日米軍に対し、都及び周辺自治体に現地で直接説明することなどを要請するとともに、国に対しても、これらを米軍に要請するよう、連絡協議会から要請した。



▲市ホームページで公開しているPFOS等漏出に関する情報

被災者支援について



公明党
青木 健 議員



質問 大規模な災害発生後の被災者個々の状況に合わせた支援として、災害ケースマネジメントという取り組みが注目されている。本市でも導入を検討すべきと考えるが、市の所見を伺う。

市長 災害ケースマネジメントは、東日本大震災や熊本地震、能登半島地震でも実施された災害関連死の防止策として、避難所以外の避難

者への支援、被災者の自立・生活再建の早期実現、地域社会の活力維持への貢献等が期待されるものと認識している。本市においては、災害発生後、市役所に被災者総合相談窓口を開設するほか、必要に応じて避難所等へ相談員を派遣し、被災した市民の相談、要望等の聞き取りを行うこととしている。災害ケースマネジメントの実施については、市単独で

の実施は不可能であり、被災者の抱える多様な課題に対応するには、福祉関係機関、弁護士や建築士等の資格を有する専門家、災害関係のNPO等様々な専門性を有する民間団体と協働した取り組みが必要不可欠と考える。今後も、被災者の迅速な生活再建に向け、災害ケースマネジメントを含め、様々な支援策を研究していく。



行政視察報告

全国の市町村の特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため実施した、常任委員会及び議会運営委員会の先進市視察について報告します。
なお、視察報告書の全文を市議会ホームページに掲載しています。
※右のQRコードよりご覧いただけます。



市民厚生委員会

令和6年10月3日(木)～4日(金)

視察先 ①愛知県小牧市 ②愛知県東海市

①コマキッズドリームプロジェクト(ユメプレ)について

夢にチャレンジする人や海外留学の希望者に対して、助成金や奨学金を支給する事業等を行っている。希望者には、プレゼンテーションや書類・面接などの審査により助成金(上限30万円)や奨学金(月額上限5万円)が支給される。

②ひきこもり支援センター(ほっとプラザ)について

学校や社会になじめず、誰に相談していいかも分からない、そんなひきこもりの子どもや若者・大人まで、悩まれている方とその家族を支援している施設である。相談ができる場所、安心できる居場所として、利用者は年々増加傾向にあり、利用者ニーズを感じる施設及び取り組みであった。



愛知県小牧市

建設環境委員会

令和6年10月7日(月)～8日(火)

視察先 ①静岡県藤枝市 ②大阪府堺市

①AIオンデマンド交通「ふじえだmobi」について

AIオンデマンド交通「ふじえだmobi」を実証運行し、交通課題解決や経済効果の検証を進めている。高齢者の交通手段確保や子育て世代のセカンドカー代替として活用され、便利で費用負担が少ない点から利用者増が期待される。移動に制約のある市民に手段を提供し、社会的孤立防止や地域活性化にも寄与している。

②原池公園等管理運営事業について

公募設置管理制度と指定管理者制度を併用し、公園全域を一括管理運営する事業を実施。民間企業のノウハウや資金力を活用し、バーベキュー施設の整備などで公園施設を充実させ、効率的かつ持続可能な運営を実現。地域住民への質の高いサービス提供と公園の魅力向上を図っている。



大阪府堺市

議会運営委員会

令和6年10月29日(火)～30日(水)

視察先 ①栃木県那須塩原市 ②福島県会津若松市

①議会基本条例及び議員政治倫理条例について

市民参加を拡大して市民のための市政を実現するために、平成24年に市議会の最高規範である議会基本条例の制定に至った。議会報告会が常任委員会ごとに行われている。また、議員政治倫理条例は平成27年に制定され、一部の資産の公開が行われていることが特徴といえる。

②議会基本条例及び議員政治倫理条例について

平成20年に両条例が同時に制定された。議会基本条例では、市民との意見交換会は極めて重要な制度であり、政策形成の起点として位置づけられている。議員政治倫理条例の制定には、過去にあった議員の問題行動が背景に有ることから、かなりしっかりとした条例になっており細かく条文化されている。



福島県会津若松市

総務文教委員会

令和6年11月6日(水)～7日(木)

視察先 ①静岡県焼津市 ②静岡県静岡市

①部活動の地域移行について

部活動における教員の負担増加や生徒たちの多様な学びの場を提供する必要性が議論され、文部科学省は部活動の地域移行を推進しており、焼津市もこの流れを受け、部活動の地域移行を段階的に進めている。地域と学校が一体となり、子どもたちを支える仕組みづくりを目指した取り組みをしている。

②安東小学校について

「ひとりひとりが生きる授業」にて、教師の役割について検討を深める必要性を挙げ、子どもを中心に置く探究的(問題解決的)な学習展開において教師の適切な関わりは大変難しく、「協働的な学び」によって「自分で判断して行動できる」子どもの育成に積極的に取り組んでいる。



静岡県静岡市

可決等された案件(要旨)

●刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う刑法の一部改正に伴い、懲役及び禁錮の刑に関する規定を整理するため、関係する条例を改正するもの。

●福生市地域包括支援センターの職員及び運営に係る基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法施行規則の一部改正に伴い、福生市地域包括支援センター職員の員数の基準に関する規定を整備するとともに、関係する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●福生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

東京都道路占用料等徴収条例の一部改正に伴い、道路占用料が改定されたことから、本条例においてもそれに準じて道路占用料の額を改定するもの。

●福生市営住宅条例の一部を改正する条例

木造市営住宅の取り壊しに伴い、戸数を変更する必要があることから、条例を改正するもの。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)

歳入では、特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額など、歳出では、障

児医療費助成事業の増などで2億775万7千円。生活保護費が主に生活扶助や医療扶助の増により6599万1千円。

また、中学校防音機能復旧(復機)事業の繰越明許費や、総合行政ネットワーク更新委託や自立相談支援業務委託など5件の債務負担行為、福東テニスコート人工芝改修工事の減額に伴う地方債の変更を行うもの。

●福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給割合を改定するため、条例を改正するもの。

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

市議会議員に支給する期末手当の支給割合を改定するとともに、令和6年12月期の期末手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて会計年度任用職員の令和6年12月期の期末手当及び勤勉手当の支給割合の特例を定めるため、条例を改正するもの。

●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例により一般職の職員の期末・勤勉手当の年間支給割合を引き上げると同様

●福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じて一般職の職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合並びに給料表を改定するとともに、令和6年12月期の期末手当及び勤勉手当の支給割合の特例を定めるため、関係する二つの条例を改正するもの。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第5号)

給与改定等に伴う職員人件費や会計年度任用職員手当の増額、新型コロナウイルスワクチン接種を受けたことにより健康被害が生じた方に医療手当等の給付金を給付するに当たり、歳入歳出それぞれ1億4582万2千円を追加し、予算総額を378億6011万3千円とするもの。

主な歳入は、国庫負担金が新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金1472万7千円。会計年度任用職員

手当の増額に係るものとして、国庫補助金が1万2千円と委託金が15万6千円。都補助金が主に会計年度任用職員手当の増額に係るものとして88万5千円。また、一般財源の不足を補うため財政調整基金を1億3千万円繰り入れる。

歳出では、令和6年度の給与改定等に伴い、議会費から教育費においてそれぞれ職員人件費、会計年度任用職員手当を増額。また、それに伴い

●福生市選挙管理委員会委員の選挙

議会の選挙により、岩崎澄雄氏、原紀子氏、春日廣信氏、西敏彦氏の4名を選出。(指名推薦)

●福生市選挙管理委員会委員補充員の選挙

議会の選挙により、早田大作氏、厚谷まゆみ氏、塚原悦子氏、山崎源太氏の4名を選出。(指名推薦)

●人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

任期満了となる島田しのお氏を引き続き人権擁護委員として法務大臣に推薦することに異議ない旨を答申するもの。

●福生市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う刑法の一部改正に伴い、懲役及び禁錮の刑に関する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●福生市選挙管理委員会委員の選挙

議会の選挙により、岩崎澄雄氏、原紀子氏、春日廣信氏、西敏彦氏の4名を選出。(指名推薦)

●福生市選挙管理委員会委員補充員の選挙

議会の選挙により、早田大作氏、厚谷まゆみ氏、塚原悦子氏、山崎源太氏の4名を選出。(指名推薦)

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択

○指定管理者の疑義解明を求める陳情書(6・7号)

(不採択理由)

指定管理者制度を適正に運用しており、疑義解明の必要性が認められないことから、意に沿い難い。

○開発道路の疑義解明を求める陳情書(6・8号)

(不採択理由)

陳情の趣旨について、福生市では適正に扱われており、疑義を認められないことから、意に沿い難い。

討論

●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

反対

この条例改正は、人事院勧告を踏まえ、一般職の職員の給与改定に併せて市議会議員に支給する期末手当の支給割合を引き上げるというものであり、議員報酬や特別職の給料については福生市特別職報酬等審議会にて審査、勧告を受けなければならないことになっているが、期末手当についてはその対象に含まれていないため、多くの市民が苦しい生活状況にある中で、市民の代表である我々議員の期末手当を今上げることに関しては、市民の理解が得られるとは考えられないこと。

一方で、議員報酬が現状で十分だと認識しているわけではなく、若者世代が立候補しようと思うには十分な水準だと考えており、一日も早く市民全体の暮らしが向上し、堂々と引き上げを審議できるようにするために、市民の暮らしを守る市政の充実に努力する必要がある、何より大きな責任を持つ国政において市民の暮らしに優しい政治に転換することが求められていることから、本案に反対する。

反対

議員報酬は、市民の貴重な税金で賄われており、報酬の増額は市民の理解と信頼を得るには、時期尚早だと考えていること。

物価高騰や経済の不安定化により、市民の生活は大変厳しく、特に中小企業や家庭は増大するコストに直面し、多くの市民が生活のやりくりで苦労していること。

市民が苦しいときにこそ、政治家は率先して身を切る姿勢を示すべきで、市民の代表である政治家は、市民の生活の向上が明らかになるまでは報酬の引き上げを行うべきではなく、本市の財政は依然として厳しい状況であると理解しており、限られた財源は教育、福祉、インフラ整備といった市民生活に直結する課題に最優先して活用すべきであること。

報酬引き上げの根拠となっていない人事院勧告は、団体交渉権やストライキ権が制限される公務員のために設置された制度であり、それが政治家に適用される正当性は大変乏しいと考えていることなどから、本案に反対する。



議案の審議結果（○賛成 ×反対）

録画映像をご覧くださいます



※1名欠席

令和6年第4回定例会	議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	議決結果
	市長提出議案								
	議案第53号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第54号	福生市地域包括支援センターの職員及び運営に係る基準を定める条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第55号	福生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	福生市営住宅条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第57号	令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第58号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第59号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	×	○	○	×	可決
	議案第60号	福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	×	○	○	×	可決
	議案第62号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決
	議案第63号	令和6年度福生市一般会計補正予算(第5号)	○※	○	○	○	○	○	可決
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について	○※	○	○	○	○	○	異議ない旨を答申
	委員会提出議案								
	委員会提出議案第2号	福生市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○※	○	○	○	○	○	可決

●福生市営住宅条例の一部を改正する条例

問 解体前の市営住宅を活用した訓練の内容について伺う。

答 令和6年6月25日に公共施設マネジメント課が中心となり、第一市営住宅の建物を活用した「被災建築物応急危険度判定実地訓練」を行った。応急危険度判定とは、被

災建築物の使用可否を判断するもので、市職員と民間判定員が参加し訓練を実施した。今後も木造市営住宅の用途廃止に際しては、このような取り組みの訓練教材として提供していきたい。

●福生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

問 占用物件ごとに改定率が異なっている理由を伺う。

答 固定資産税評価額を基に算出した「道路価格」に、使用料率と占用面積を掛け合わせ、必要に応じて修正率を適用して決定される。「道路価格」は電柱やガス管などの「定額物件」と広告塔などの「定率物件」に分類され、用途に応じてさらに「商業地目」と「平均地目」に細分化されるため異なる。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)

問 西多摩衛生組合負担金の減額の理由を伺う。

答 令和6年度当初予算19億3195万円が、前年度の繰越金確定や塵芥処理費の契約差金の発生により、18億8468万3千円、4726万7千円の減額となり、このうちの福生市分28・1%、1331万7千円が減額となった。

問 市民農園の開設が中止となった理由を伺う。

答 令和4年8月に土地所有者から、市民農園として長期的に活用して農地保全をしてもらいたいとの申し出があり、生産緑地に約90区画を整備する予定であったが、令和6年5月に計画取り下げの申し出があり、開設を中止した。

問 中小企業振興資金対策事業増額の積算内訳と増の要因を伺う。

答 利子補給金は、新規貸し付け増加に伴い、上期比5%増加を積算し約281万円。信用保証料は、融資申し込み件数増加により、昨年度比1・2倍の約506万円。合計787万4千円の増額補正を行う。増の要因は、物価高騰や賃上げの影響による資金繰り悪化や、市融資制度の認知度向上があると考えている。

問 加美平公園便所の火災の詳細と現状、今後の予定、保険適用の有無について伺う。

答 令和6年10月17日午前3時41分に119番通報があり、4時35分に鎮火した。便所27㎡のうち10㎡が焼失し、現在は撤去され、12月から仮設トイレ2基を設置している。早期復旧のため、年明けに設計に着手し、令和7年7月にこの設計が完了する予定。保険で対応する。

問 福生七夕まつり委託料増額の理由として挙げられた近年の飾り付け参加団体数の比較を伺う。

答 飾り付け参加団体数は20団体、昨年は13団体

建設環境委員会

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました



▲被災建築物応急危険度判定実地訓練の様子

この申し出があり、生産緑地に約90区画を整備する予定であったが、令和6年5月に計画取り下げの申し出があり、開設を中止した。

問 中小企業振興資金対策事業増額の積算内訳と増の要因を伺う。

答 利子補給金は、新規貸し付け増加に伴い、上期比5%増加を積算し約281万円。信用保証料は、融資申し込み件数増加により、昨年度比1・2倍の約506万円。合計787万4千円の増額補正を行う。増の要因は、物価高騰や賃上げの影響による資金繰り悪化や、市融資制度の認知度向上があると考えている。

問 加美平公園便所の火災の詳細と現状、今後の予定、保険適用の有無について伺う。

答 令和6年10月17日午前3時41分に119番通報があり、4時35分に鎮火した。便所27㎡のうち10㎡が焼失し、現在は撤去され、12月から仮設トイレ2基を設置している。早期復旧のため、年明けに設計に着手し、令和7年7月にこの設計が完了する予定。保険で対応する。

問 福生七夕まつり委託料増額の理由として挙げられた近年の飾り付け参加団体数の比較を伺う。

答 飾り付け参加団体数は20団体、昨年は13団体

問 加美平公園便所等整備工事実施設計委託の内容を伺う。

答 公園の利用状況を鑑みながら、高齢者、障害者、乳幼児連れの方など、誰もが使いやすい便所を設計する。

●福生市地域包括支援センターの職員及び運営に係る基準を定める条例の一部を改正する条例

問 改正の経緯について伺う。

答 地域包括支援センターに配置が義務づけられている保健師、社会福祉士、主任介護専門職員等の3職種などの福祉人材は、全国的に人材確保が困難な状況になっている。そのため、地域包括支援センター運営協議会が必要であると認めるときは、常勤職員の配置を常勤換算方法によることができるとするなど、柔軟な職員配置を進めるための改正である。

問 地域包括支援センターの職員の充足状況及びこの条例改正での影響について伺う。

答 現状の地域包括支援センターの運営について

問 就労自立給付金の具体的な支援内容及び支援後の効果について伺う。

答 生活保護受給者の就労による自立の促進を図ることを目的とした給付金であり、給付上限額は単身世帯で10万円、複数世帯で15万円である。支援後の効果は、再度生活保護に至ることを防止する効果がある。

問 義務教育就学児・高校生等・ひとり親家庭等医療費助成事業における医療費の増額理由について伺う。

答 令和6年度は、診療

は、地域包括支援センター事業委託契約において専従職員の配置人数を決定しており、現在3か所の地域包括支援センターにおいては、3職種の配置人員は充足していることから、本条例の改正に伴う影響はない。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)

問 保育所等の物価高騰対策事業について伺う。

答 依然として続く物価高騰に対し、保育所等が利用者から徴収することが困難な食材料費等の高騰による負担を軽減し、安定した事業運営と保育の質を維持するため、認可保育所、認定こども園、小規模保育園、病児保育室、幼稚園、認可外保育施設に対し補助を実施するものである。

市民厚生委員会

問 就労自立給付金の具体的な支援内容及び支援後の効果について伺う。

答 生活保護受給者の就労による自立の促進を図ることを目的とした給付金であり、給付上限額は単身世帯で10万円、複数世帯で15万円である。支援後の効果は、再度生活保護に至ることを防止する効果がある。

問 義務教育就学児・高校生等・ひとり親家庭等医療費助成事業における医療費の増額理由について伺う。

答 令和6年度は、診療

は、地域包括支援センター事業委託契約において専従職員の配置人数を決定しており、現在3か所の地域包括支援センターにおいては、3職種の配置人員は充足していることから、本条例の改正に伴う影響はない。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)

問 保育所等の物価高騰対策事業について伺う。

答 依然として続く物価高騰に対し、保育所等が利用者から徴収することが困難な食材料費等の高騰による負担を軽減し、安定した事業運営と保育の質を維持するため、認可保育所、認定こども園、小規模保育園、病児保育室、幼稚園、認可外保育施設に対し補助を実施するものである。

問 就労自立給付金の具体的な支援内容及び支援後の効果について伺う。

答 生活保護受給者の就労による自立の促進を図ることを目的とした給付金であり、給付上限額は単身世帯で10万円、複数世帯で15万円である。支援後の効果は、再度生活保護に至ることを防止する効果がある。

問 義務教育就学児・高校生等・ひとり親家庭等医療費助成事業における医療費の増額理由について伺う。

答 令和6年度は、診療

報酬の増額改定があったほか、子どもたちの間で幾つかの感染症が流行したことなどが、医療費の増加につながったのではないかと考えている。



▲医療費助成事業に係る各種医療証

総務文教委員会

12月12日に委員会が開催され、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●**刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例**
懲役と禁錮が拘禁刑に一本化されるということだが、拘禁刑という文言に統一しようとしたポイントと理由を伺う。

答 改正後の刑法で、拘禁刑は、受刑者を刑事施設に拘置し、改善更生を図るため必要な作業を行わせ、または必要な指導を行うことができることとされており、再犯防止に向けて、従来よりも受刑者に対し柔軟な処遇を可能とするための改正が行われたものである。

令和6年度福生市一般会計補正予算第4号 (総務文教委員会所管分)

問 物価高騰により食材の価格が高騰する中でも、質や栄養価を落とすことなく子どもたちに十分な給食を提供するため、給食センターでは様々な工夫をしていると聞いているが、その内容について伺う。

答 食材価格高騰への対応として、栄養教諭や栄養士を中心に、良質で安価な食材を活用した献立づくりや、センター方式の特徴を生かした食材の一括購入など、様々な工夫により給食の質及び必要な栄養価の確保を図っている。クリスマスに提供するケーキについて、昨年度までは市販品を業者から購入していたが、今年度は、手作りで米粉のケーキを調理することで経費節減を図るとともに、子どもたちが笑顔になるような給食を目指している。



▲クリスマスにちなんだ提供した給食

問 福生第一中学校の新校舎復機工事に係る入札の不調により、夏季休業

期間中の施工が不可能となったが、この入札の状況と今後の見込みについて伺う。

答 令和6年6月と7月に建築工事の入札を行い、1回目、2回目ともに指名競争入札にて7者を指名したが、技術者不足との理由により全者辞退の状況であった。今後は、令和7年1月に、同様の7者程度による指名競争入札を予定している。

議会運営委員会

12月17日に開催された委員会において、「福生市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例」を委員会提出議案として提出することが決定された。

そのほか、定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め7回開催された。



特別委員会 活動から

横田基地対策 特別委員会

12月13日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 横田基地に関する情報等について

泡消火薬剤の交換に関する声明(在日米軍から発信)について、令和5年6月16日に米側から発表された、在日米軍施設における水成膜泡消火薬剤の交換に関する声明が更新されたとの情報提供が国からあった。内容は、米政府は旧式水成膜泡消火薬剤を、P F O S及びP F O Aを原料に含まない新式組成の水成膜泡消火薬剤に交換し、横田空軍基地等に残存していた旧式のもの、廃棄を完了。撤去したものは、日本国内で認可されている処分場での焼却処分を完了した。

米軍横田飛行場における在日米宇宙軍の新編について、12月4日に米軍横田飛行場にインド太平洋洋宇宙軍隷下の部隊として新編される予定。新編時の組織規模は10名程度。現時点では、横田飛行場の既存施設を活用して運用することから、新たなレーダーやアンテナの設置、施設の建設は予定していない。

議員の辞職について

令和6年11月22日付けで、石川義郎議員が一身上の都合により辞職しました。

次回定例会(令和7年第1回)のお知らせ(予定)

～ぜひ、傍聴にお越しください～

日	月	火	水	木	金	土
3/2	3	4 一般質問 本会議 午前10時開会	5 一般質問	6 一般質問	7 一般質問	8
9	10	11 予算審査 特別委員会 午前10時開会	12	13	14	15
16	17	18 常任委員会 午前10時開会	19	20 春分の日	21 常任委員会 午前10時開会	22
23	24	25	26 議会運営 委員会 午前10時開会	27	28 本会議 午前10時開会	29

会期：令和7年3月4日～3月28日

※会期中に特別委員会が開催される予定です。※日程は変更になることがあります。

会場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリングループを導入しています。

ご利用ください! 市議会インターネット中継



福生市議会
インターネット
中継

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。
議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」→「インターネット中継」よりアクセス

ケーブルテレビ による 議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。
ぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。
ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

編集 後記

令和6年の夏も大変な猛暑でしたが、季節は巡るもので、寒さが身にしみる季節となりました。

さて、令和6年最後となります第4回定例会では、13の議案などが審査されました。令和6年度福生市一般会計補正予算(第4号)では、福生第二小学校創立150周年記念事業の一環として、片倉跡地のフェンスに児童によるウォールペイントを実施するため、フェンスの下地整備と塗料等の購入に係る予算などが可決されました。

議会運営委員会においては、「議会改革」について様々な取り組みを行っています。現在、福生市議会基本条例の制定に向けた議論が活発に行われており、令和6年10月には、議会基本条例を先進的に制定した那須塩原市と会津若松市へ視察に行き、制定の背景や運用等について研修しました。

議会、議員の活動の指針となるだけでなく、議会の透明性を高め、市民サービスの向上に繋がる条例が制定できるよう議員一丸となって進めて参ります。

令和7年が市民の皆さまにとって心豊かな一年になりますようお願い申し上げます。